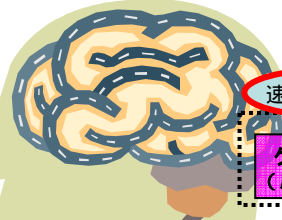


課題

こころの健康力

目標

急速に増加するアルツハイマー病について、
ステージに合わせた対策が必要



速やかに実施

ケア・リハビリテーション
(周辺症状・合併症への医療等)

5年後を目標

早期診断のための検査
(脳PET, MRI 等)

アミロイド沈着を軽減

10年後を目標

脳の代償機能の活用
(トレーニング等)

アルツハイマー病発症

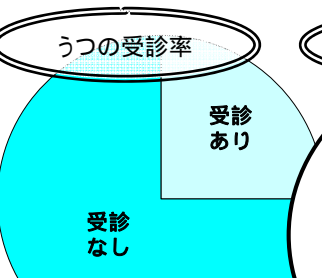
認知機能の障害

予防的介入
(有酸素運動、食事、睡眠等)

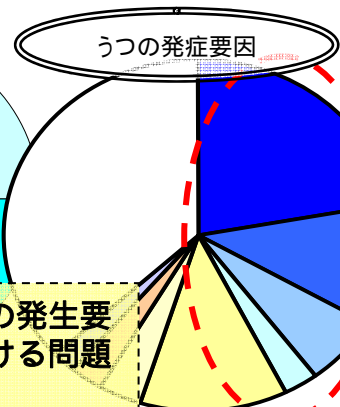
アミロイドの脳への沈着量

50歳 60歳 70歳 80歳

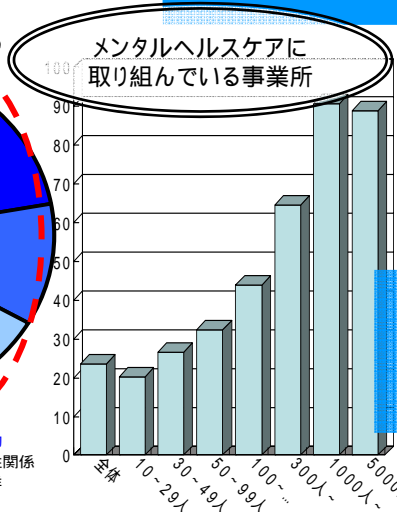
「うつ」で医療機関を受診する方は、非常に少ない



労働者の「うつ」の発症要因として職場における問題が約40%



- 業務負荷
- 昇進
- 家族の病気
- 職場の対人関係
- 家族の人間関係
- 経済的問題
- 異動
- 異性関係
- 不詳



図表：新健康フロンティア戦略賢人会議 第3分科会資料より一部改変

労働者健康状況調査（平成14年）

症状の出現前に
早期診断ができる
技術の開発と実用化！

症状の進行に対応した
医療と福祉の
ベストミックス



認知症の方が
安心して暮らせる
地域づくり
を目指します！

うつに悩む方に対する
理解の推進を図り、
早期に医療機関を受診
する方を増やす！

うつの
早期発見、
早期治療開始
を推進します！

地域や職域での
理解の促進、相談体制
の整備、社会復帰プロ
グラムの開発！

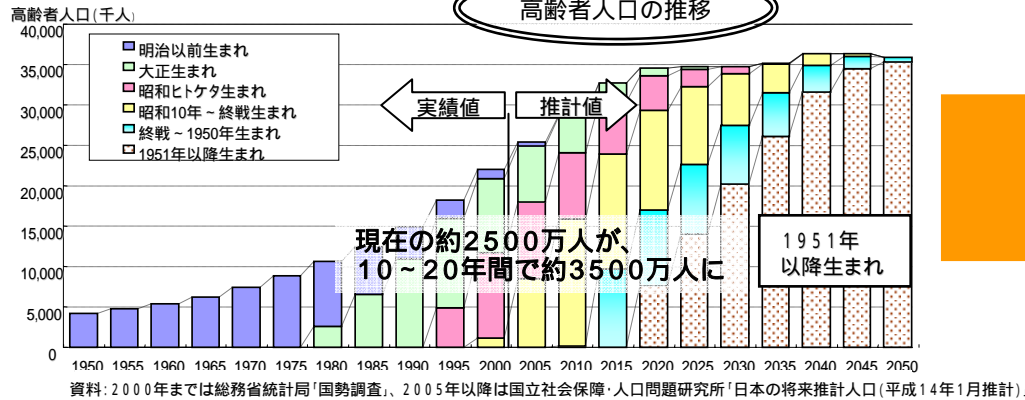
社会復帰の推進
を目指します！

課題

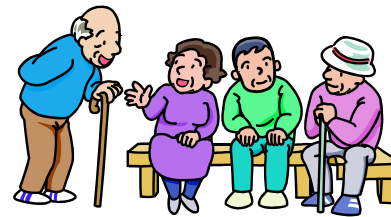
介護予防力

目標

現在、超高齢社会の入り口にさしかかっています

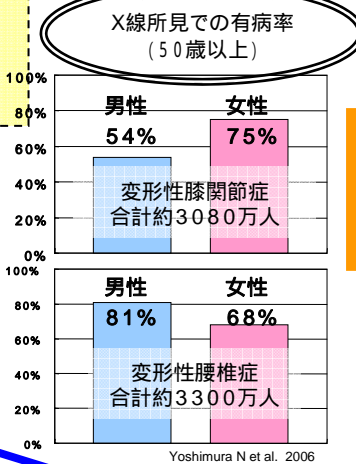


地域や国民全体で「生き生き暮らそう」「お達人人生を目指す」ための、運動や食事、口腔ケア等に取り組みやすい環境づくりを推進!



「からだ」と「気持ち」の老化を防ぎ、前向きに歳を重ねることを応援します!

「膝痛・腰痛で歩けない」動きたいのに、動けない・動かないの悪循環で要介護、寝たきり高齢者が増加



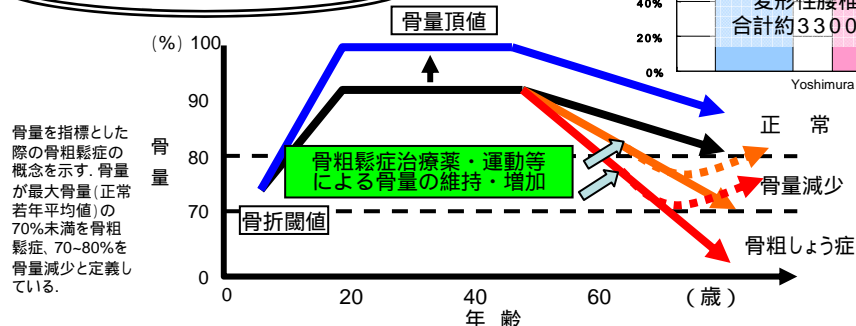
膝痛・腰痛の予防等の研究開発を促進し、痛みを訴える方を減らす!



膝痛や腰痛で「動かない・歩けない」の状態となることを防ぎます!

骨量が少ないと骨粗しょう症に、さらには骨折をしやすくなる。

骨しょう症対策の考え方





若い時期からの運動・食事等の対策を推進し、骨粗しょう症等を要因とした骨折の患者を減らす!

高齢者の骨折を減らします!

図表：新健康フロンティア戦略賢人会議 第3分科会資料より一部改変

歯の健康力

課題	幼児期	学齢期	成人期	高齢期	寝たきり者	目標
う蝕予防対策	家庭における子どもの丈夫な歯づくりに関する知識の普及と実践 学校での口腔に関する健康教育の実施 歯の生え替わりの時期における丈夫な歯と噛み合わせに関する知識の普及と予防の推奨					12歳児の一人平均う歯数の減少
歯周疾患対策			妊産婦に対する予防の勧奨、乳幼児から生涯にわたる口腔に関する健康教育 喫煙と歯周病に関する知識の普及 成人期の歯周病に対する早期発見と進行抑制に関する知識の普及			糸ようじなど歯間清掃器具を使用する人の割合の増加
口腔ケア				噛む機能と食べる機能の維持・確保に関する知識の普及 寝たきり者等に関する口腔清掃知識の普及 高齢者の口腔内や入れ歯の状態の定期的なチェックの推奨		80歳で20歯以上の歯を持つ人の割合の増加
	噛む機能と食べる機能を維持するための研究の推進					
	食育対策との連携	生活習慣病対策との連携				
	8020運動の推進					
	個人が行うセルフケアの推進 ~ブラッシングなど適切な口腔習慣の確立~					
	歯科医師によるプロフェッショナルケアの推進 ~口腔内や入れ歯の状態の定期的なチェックなど~					



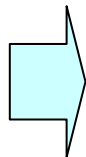
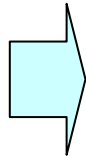
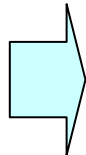
食の選択力(食育)

課題

食卓を通じた家族のふれあいの不足

小児期の肥満や思春期の不健康なやせ等

健全な食生活や食料の生産、流通等に関する知識と理解の不足



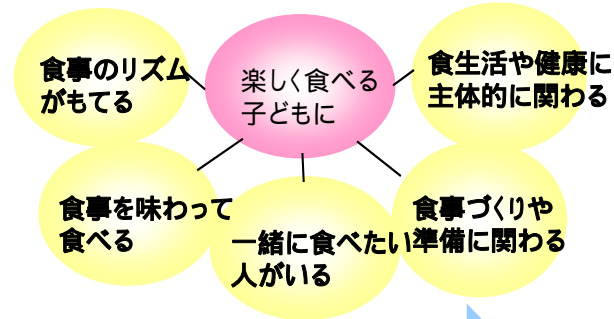
子どもの頃からの食育の推進

過度なダイエットの健康リスクに関する意識啓発

食に関する関心・知識の増進

農業体験、自然体験等の促進

「食を通じた子どもの健全育成」の目標

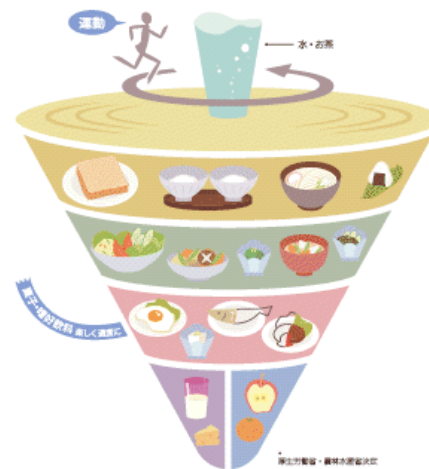


国民運動の展開

(家庭、地域、学校、保育所等の連携による取組の推進)



「食事バランスガイド」



目標

生涯にわたって健康な心と体を保ち、豊かな人間性をはぐくむ

食に関する知識と食を選択できる力を身につける
健やかな生活習慣を身につける
食卓を通して家族がふれあう機会を拡げる